

# 河川基金助成事業

## 「『川のまち旭川』調査隊」 報告書

助成番号：2022 - 7211 - 018

北海道教育大学附属旭川小学校

校長 笠原 究

2022 年度

助成番号	助成事業名		学校名			
2022-7211-018	「川のまち旭川」調査隊		北海道教育大学附属旭川小学校			
所在地	北海道旭川市春光4条1丁目1番1号	対象河川名	石狩川 忠別川			
対象学年	4学年 (70人)		主たる教科	総合的な学習の時間		
河川教育の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>旭川市の川との関わりについて調べたり、調査したことを基に川を生かしたまちづくりについて考え発信したりすることを通して、川の役割や川を生かしたまちづくりについて理解することができる (知識及び技能)</li> <li>様々な体験活動を通し、感じたこと・考えたことから課題を作り、情報を集め、整理分析し、自分なりの方法でまとめ・表現することができる (思考力・判断力・表現力等)</li> <li>友達と一緒に活動するよさを大切にしながら、力を合わせて活動したり、学習を通してできるようになったことや分かったこと、新たな解決の仕方やものの見方・考え方が身に付いたことに気付いたりする (学びに向かう力、人間性等)</li> </ul>					
育成したい資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>川を支える人たちと関わり、人々の努力や思いによってまちづくりがされていることや環境問題と向き合って安全なまちづくりがされていることなどに気付き、日常を見つめ直し、自己のこれからの生き方を考えていくための資質・能力</li> </ul>					
<b>学習活動の内容と成果</b>						
<p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>伊野川での水質・水生生物調査、忠別ダム、永山新川さららでの防災施設見学、石狩川での川下りを体験した。その後、体験して分かったことや疑問を整理し、課題を設定した。インターネットや図書館の資料を探す活動を行い、収集した情報を個人で新聞にまとめた。</li> <li>新聞を交流する中で生まれた疑問や調べたいことを整理し、課題別グループで街頭インタビューを行った。</li> <li>調べた結果や自分たちの意見をグループごとにスライドにまとめ動画にした。</li> <li>公益財団法人旭川市公園緑地協会が主催する「学習発表交流会」で動画を基に交流を行った。他校や京都の川を守る団体の発表を聞いた。学びを多くの人に伝えるためにオリジナルソングを作った。</li> </ul> <p>[成果]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験活動から学びを始めることで一人一人が意欲的に学びを進めることができた。</li> <li>新聞づくりを行い、自分の考えを整理した後、仲間と新たな疑問や調べたいことを交流することで、<u>課題が焦点化した</u>。また、自他の課題を共有することで協力して課題を解決していく姿につながった。</li> <li>学習を通して、友達と一緒に活動するよさや力を合わせて学びを進めることの大切さを児童が感じる事ができた。</li> </ul>						
学びの創意工夫点	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験活動を単元導入に位置付けた学習展開</li> <li>個人での課題解決の充実と協働的な課題解決を支える共有場面の設定</li> </ul>					
河川教育を通じて見られた子どもの変容	<ul style="list-style-type: none"> <li>川の役割や川との親しみ方を知ることで、<u>川に対して肯定的な見方をしたり、愛着をもったりするようになった子どもが増えた</u>。</li> <li>実物に触れる機会や専門家と関わる機会を設定することで、<u>課題に関して自ら進んで意欲的に探究しようとする姿が見られた</u>。</li> </ul>					
<b>支援者等 (複数記入可)</b>						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関 (博物館、資料館) 等		関係団体 (漁協、農協) 等		企業	その他
支援の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>川下りツアーを企画していただいた。</li> <li>ダム見学、水質調査、生き物調査を企画していただいた。</li> </ul>					
成果発表	成果作品			発表方法		
	新聞、動画 歌			新聞掲示、学習発表交流会 オリジナルソングづくり		
<b>今後の課題・展開</b>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な体験を行うための予算の確保と、日程調整やバスの手配などの負担軽減。※川下りでは学校のバス1台で、4往復するピストン輸送を行った。</li> <li>川を生かしたまちづくりにまで目が向くような学習展開にしていく。</li> </ul>						

・キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

1.助成事業名	「川のまち旭川」調査隊		学校名	北海道教育大学附属旭川小学校			助成番号	2022-7211-018			
2.河川教育の目標	旭川市の川との関わりについて調べたり、調査したことを基に川を生かしたまちづくりについて考え発信したりすることを通して、川の役割や川を生かしたまちづくりについて理解することができる（知識及び技能） 様々な体験活動を通し、感じたこと・考えたことから課題を作り、情報を集め、整理分析し、自分なりの方法でまとめ・表現することができる（思考力・判断力・表現力等） 友達と一緒に活動するよさを大切にしながら、力を合わせて活動したり、学習を通してできるようになったことや分かったこと、新たな解決の仕方やものの見方・考え方が身に付いたことに気付いたりする（学びに向かう力、人間性等）										
3.育成したい資質・能力	川を支える人たちと関わり、人々の努力や思いによってまちづくりがされていることや環境問題と向き合っ安全なまちづくりがされていることなどに気付き、日常を見つめ直し、自己のこれからの生き方を考えていくための資質・能力										
4.単元構想	4学年	70人	〈テーマ〉 環境・安全・防災・町づくり								
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
単元目標	「川のまち旭川」調査隊										
	<p>【知識・技能】</p> <p>①旭川市は川との関わり(治水, 利水, 親水, 環境, 生物, 防災, 文化, 歴史等)が強いまちであることを理解する ②旭川市の川(治水, 利水, 親水, 環境, 生物, 防災, 文化, 歴史等)や、川を生かしたまちづくりについて理解する ③旭川市は、川と共に発展したことや、川を支える人たちの努力や愛着によって支えられていることを理解する</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①学習対象に積極的に関わることを通して、課題を発見し設定する ②解決の方法や手順を考え、見直しをもって計画を立てる ③情報収集したこと、分かったことや気付いたことを整理・分析し、自分の考えを分かりやすく表現する</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①課題解決に向けて、一緒に活動するよさを大切にしながら、力を合わせて活動している ②できるようになったことや分かったこと、新たな解決の仕方やものの見方・考え方が身に付いたことに気付いている</p>										
	関連教科:総合25時間 国語5時間		30時間	関連教科:総合25時間 国語10時間			35時間	関連教科:総合20時間		20時間	
主な学習活動	<p>◎総合的な学習の時間</p> <p>【1次:発見過程】</p> <p>◇川体験ツアーに行く。 ※「川下り体験」から、川の魅力を伝える取組について知る。 ◇単元のゴール①を設定する。 ◇発見課題を設定し、学習計画を立てる。 ◇ゲスト・ティーチャーから「旭川市と川との関わり」について学ぶ。 ◇旭川市民に「なぜ、旭川市は『川のまち』なのか」を調査し、集めた情報をグラフで整理する。 ◇なぜ旭川は「川のまち」なのかを明らかにする。 ◇学習を振り返り、感想や新たな疑問を交流する。 ◇追究課題(2次)を設定する。</p>		<p>◎総合的な学習の時間</p> <p>【2次:追究過程①】</p> <p>◇学習計画を立てる。 ◇個の課題を設定し調査活動に向けて計画を立てる ◇夏休み調査活動</p>		<p>◎総合的な学習の時間</p> <p>【2次:追究過程①】</p> <p>◇調査活動交流会 ◇個の課題を再設定し調査活動の計画を立てる。 ◇ゲスト・ティーチャーを招いて「川の○○」の情報を収集する。 ◇収集した情報を整理・分析し、「川の○○」を「川マップ」にまとめ交流する。</p>		<p>◎総合的な学習の時間</p> <p>【2次:追究過程②】</p> <p>◇追究課題②を設定し、学習計画を立てる。 ◇川を生かしたまちづくりについて調査する。 ◇収集した情報を整理し、「川を生かしたまちづくり」プランの具体的な取組を考える。 ◇ゲスト・ティーチャーを招いて「川を生かしたまちづくり」交流会をする。 ◇ゲスト・ティーチャーに自分たちが考えた取組に対するアドバイスをもらう。 ◇「川を生かしたまちづくりプラン」を見直す。 ◇「川を生かしたまちづくりプラン」を提出する。 ◇学習を振り返り、感想や新たな疑問を交流する。 ◇表現課題(3次)を設定する。</p>		<p>◎総合的な学習の時間</p> <p>【3次:表現過程】</p> <p>◇学習計画を立てる。 ◇足りない情報があつた場合は、インターネットや本、パンフレットなどから情報を収集する。 ◇これまでの学習を振り返り、「伝えたい内容」を整理し、どのようなことを伝えるのかを決める。 ◇選択した方法で、発表の準備をする。 ◇それぞれの方法で「旭川市と川のかかわり」や「川を生かしたまちづくり」を発信する。 ◇これまでの学習を振り返り、交流をする。</p>		
	評価の観点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・川は、治水, 利水, 親水, 環境, 生物, 防災, 歴史等と関わりがあり、それぞれが関連付いて、構成されていることを理解する力(相互性)</li> <li>・解決策を構想する力(願いの実現に向けて、今、何をすべきかを明確にもち、またそのために必要なものを準備したり、取組の順番を考えたりする)</li> <li>・情報を活用する力(体験や調査から得た多様な情報を観点に合わせて整理したり分析したりして対象を捉え直す)</li> <li>・論理的に考える力(比較したり、分類したり、関連付けたりしながら情報を整理し、事実を捉える)</li> <li>・創造的に考える力(自分の気付き、思いや考えを進んで表現し、人や社会とつながる)</li> <li>・他と関わり合う力(友達の存在を意識し、一緒に活動するよさを大切にしながら、課題の解決に向けて力を合わせて活動する)</li> <li>・自ら振り返る力(課題解決の過程を通してできるようになったことや分かったことを見つめ直し、新たな解決の仕方やものの見方、考え方が身に付いたことに気付き、自信をもったり、自分らしさを大切にしようとしてたりする)</li> </ul>									

1.助成事業名	「川のまち旭川」調査隊	学校名	北海道教育大学附属旭川小学校	助成番号	2022-7211-018
---------	-------------	-----	----------------	------	---------------

5.実際にやった単元構成  
 (注)活動の様子を記述し、写真を添付してもよい。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
---	---	---	---	---	---	---	----	----	----	---	---

【1次:発見過程】

【1次:発見過程】  
 ◇川体験ツアーに行く。  
 ※「川下り体験」から、川の魅力を伝える取組について知る。  
 ◇単元のゴール①を設定する。  
 ◇発見課題を設定し、学習計画を立てる。  
 ◇ゲスト・ティーチャーから「旭川市と川との関わり」について学ぶ。  
 ◇旭川市民に「なぜ、旭川市は『川のまち』なのか」を調査し、集めた情報をグラフで整理する。  
 ◇なぜ旭川は「川のまち」なのかを明らかにする。  
 ◇学習を振り返り、感想や新たな疑問を交流する。  
 ◇追究課題(2次)を設定する。

関連教科:総合25時間 国語5時間

【2次:追究過程】

【2次:追究過程①】  
 ◇学習計画を立てる。  
 ◇個の課題を設定し調査活動に向けて計画を立てる  
 ◇夏休み調査活動  
 ◇調査活動交流会  
 ◇個の課題を再設定し調査活動の計画を立てる。  
 ◇ゲスト・ティーチャーを招いて「川の○○」の情報を収集する。  
 ◇収集した情報を整理・分析し、「川の○○」を「川マップ」にまとめ交流する。

関連教科:総合25時間 国語10時間

◇追究課題②を設定し、学習計画を立てる。  
 ◇川を生かしたまちづくりについて調査する。  
 ◇収集した情報を整理し、「川を生かしたまちづくり」プランの具体的な取組を考える。  
 ◇ゲスト・ティーチャーを招いて「川を生かしたまちづくり」交流会をする。  
 ◇ゲスト・ティーチャーに自分たちが考えた取組に対するアドバイスをもらう。  
 ◇「川を生かしたまちづくりプラン」を見直す。  
 ◇「川を生かしたまちづくりプラン」を提出する。  
 ◇学習を振り返り、感想や新たな疑問を交流する。  
 ◇表現課題(3次)を設定する。

【3次:表現過程】

◇学習計画を立てる。  
 ◇足りない情報があった場合は、インターネットや本、パンフレットなどから情報を収集する。  
 ◇これまでの学習を振り返り、「伝えたい内容」を整理し、どのようなことを伝えるのかを決める。  
 ◇選択した方法で「旭川市と川のかかわり」や「川を生かしたまちづくり」を発信する。  
 ◇これまでの学習を振り返り、交流をする。

関連教科:総合20時間 社会10時間

学習活動の結果

◇川体験ツアーに行く。  
 【総合的な学習の時間】

①水質・水生生物調査



②川下り



◇川体験ツアーに行く。  
 【総合的な学習の時間】

③防災施設見学  
 永山新川さらら



②防災施設見学  
 忠別ダム



◇課題別調査  
 【総合的な学習の時間】

・個の課題を設定し調査することを通して、活動に向けて計画を立てる。



◇まとめ  
 【国語】  
 ・課題調査で分かったことを新聞にまとめる。



◇学習発表会  
 【総合的な学習の時間】

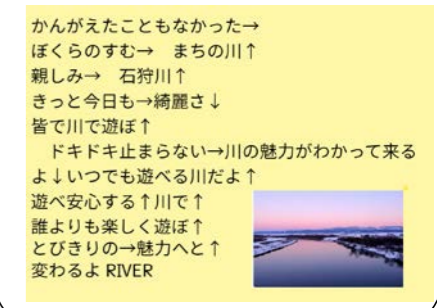
・他校や他県の川の団体、これまでお世話になった方々と発表会を行う。



◇自然災害から人々を守る活動  
 【社会】



◇これからの旭川のことを考え、行動する  
 【総合的な学習の時間】



6.得られた成果  
 ・様々な体験活動から学びを始めることで一人一人が意欲的に学びを進めることができた。  
 ・新聞づくりを行い、自分の考えが整理されたところで、仲間と新たな疑問や調べたいことを交流することで、課題が焦点化した。また、自他の課題を共有することで協力して課題を解決していく姿につながった。  
 ・学習を通して、友達と一緒に活動するよさや力を合わせて学びを進めることの大切さを児童が感じることができた。

7.河川、水を学習の題材・素材としたことによる効果  
 ・川の役割や川との親しみ方を知ることで、川に対して肯定的な見方をしたり、愛着をもったりするようになった子どもが増えた。  
 ・実物に触れる機会や専門家と関わる機会を設定することで、課題に関して自ら進んで意欲的に探究しようとする姿が見られた。

助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-018	「川のまち旭川」調査隊	北海道教育大学附属旭川小学校



学習活動名：水質・水生生物調査

日付：6月8日

見られた子どもの姿：

伊野川で水質調査と水生生物調査を行った。試薬を使って水質を調べた際に、川が汚いと思っていた児童もあまりのきれいさに驚いていた。水生生物調査では、きれいな川にしかない生き物を見付け、伊野川のきれいさ知ることができた。



学習活動名：川下り

日付：9月30日

見られた子どもの姿：

6月に予定していた川下りが雨天により順延し、9月に行った。初めてボートに乗る児童がほとんどだった。川下りを心待ちにしながらも、川への不安感を抱いている児童が多かった。そこで、川下り前に安全指導を丁寧に行い、安全に留意して実施した。川下りでは、子供たちになじみ深い旭橋、新橋の下をボートでくぐった。そのとき児童から歓声が沸いた。



学習活動名：防災施設見学

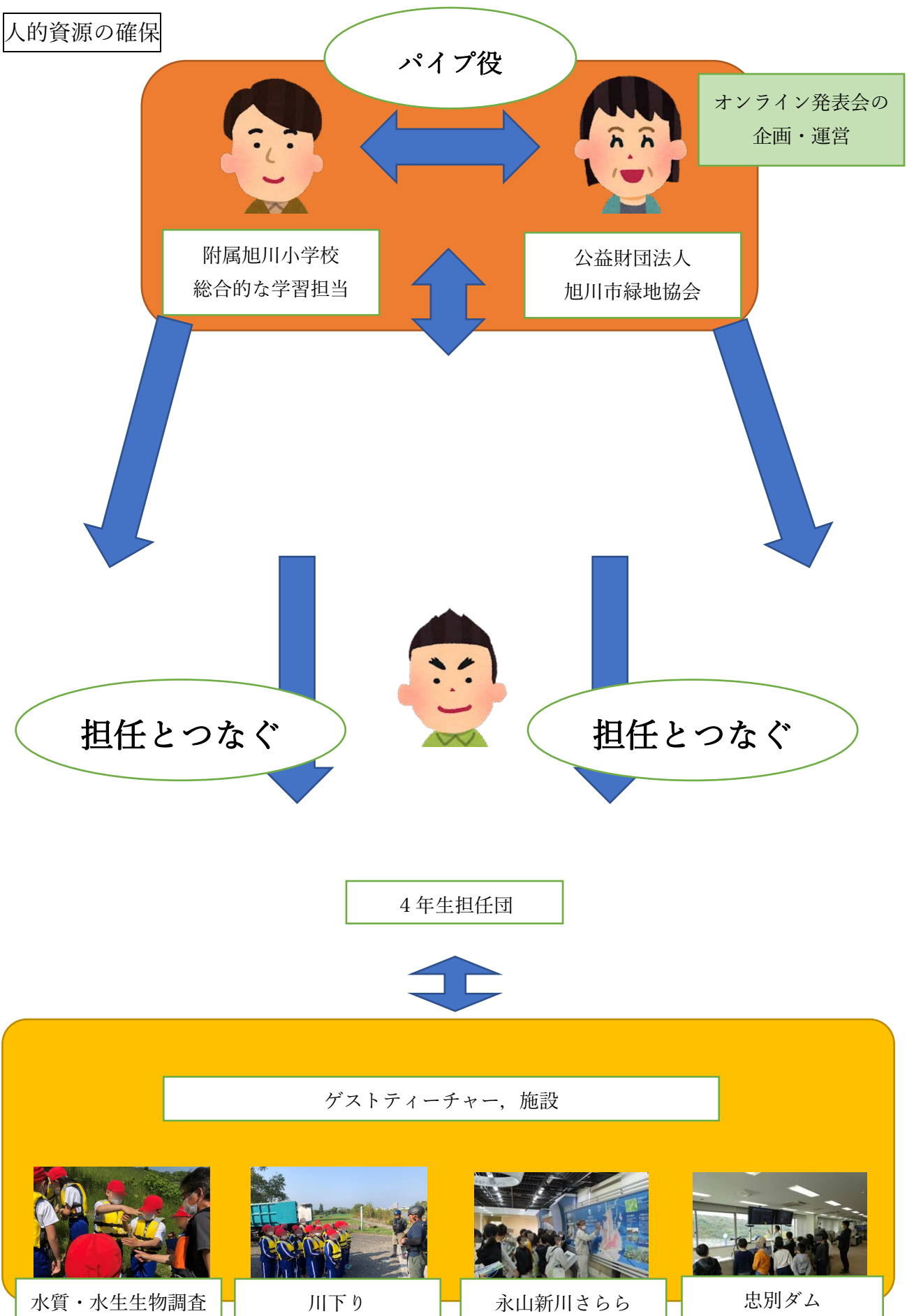
日付：10月5日

見られた子どもの姿：

6月に予定していたが、川下りの順延に合わせ延期して行った。永山新川さららと忠別ダムを見学した。永山新川が人工河川であることを知り、歴史や役割についてもっと知りたいと思った児童が多かった。忠別ダムでは、ダム内を見学し、ダムの構造を学ぶことができた。

【⑤活動内容紹介資料】

人的資源の確保



# 学びの足跡

①自分なりにまとめる → ②課題別グループで調査活動



街頭インタビュー



国語「新聞でまとめよう」

③発表動画にまとめる



④オンライン発表会



⑤歌作り

かんがえたこともなかった→  
ほくらのすむ→ まちの川↑  
親しみ→ 石狩川↑  
きっと今日も→綺麗さ↓  
皆で川で遊ぼ↑  
ドキドキ止まらない→川の魅力がわかって来る  
よ↓いつでも遊べる川だよ↑  
遊べ安心する↑川で↑  
誰よりも楽しく遊ぼ↑  
とびきりの→魅力へと↑  
変わるよ RIVER



助成番号	助成事業名	学校名
2022-7211-018	「川のまち旭川」調査隊	北海道教育大学附属旭川小学校

主な実施箇所

※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。  
 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。  
 (縮尺は1/50万~1/100万程度)  
 ※活動場所在「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。

①川下りツアー



②忠別ダム見学



助成事業の主な実施箇所